

# Isimbarda

イジンバルダ

1991年設立、創設者・経営者 LUIGI MERONI(ルイジ・メローニ)のもと、ブドウ栽培責任者 DANIELE ZANGELMI(ダニエレ・ザンジェルミ)、醸造責任者 DANIELE ZANGELMI (ダニエレ・ザンジェルミ)。

ワイナリーの名である”イジンバルダ”は、17世紀後半畑のあるサンタ・ジュレットタの領主であったイジンバルディ公爵家に由来する。彼らの栽培、醸造技術は当時のオルトレポ地域の他のすべての生産者の手本であったといわれている。現在もこの伝統技術を保持しながらワイン作りを行っている。

現在、サンタ・ジュレットタ(Santa Giuletta)とモルニコ・ロザーナ(Mornico Losana)に標高 200~350m に約 40 ヘクタールの土地を持っている。

ロンバルディア州オルトレポ地方のワイン作りはとても古くから行われており、この伝統的な文化をイジンバルダも忘れることなく、尊重し、一方で最新のワイン醸造テクノロジーも取り入れている。ブドウ栽培、ワイン醸造のすべての段階を、専門の人材が担っている。収穫作業は、ワイン醸造においてとても重要であり、すべて手作業によっておこなわれ、ブドウ圧搾も可能な限りソフトにブドウの特質を失わないようにしている。

すべての醸造過程を丁寧に、そしてテロワールを失わず最大限にあらわすことを心がけている。